



進級して1ヶ月！環境の変化にも慣れ始め、子ども達一人ひとりのイキイキした姿や今まで関わりの少なかった友達との関わりも増え、人間関係が広がってきています。

また年下との関わりを経て、お兄さんお姉さんとしての意識が高まり、年上の姿を見て憧れの気持ちを抱いています。今月は、『自然との関わり』を経て子どもたちの成長や変化をお知らせします。



自然との関わり



～栽培・飼育のねらい～

- 命の大切さを知る
- 植物・生き物への興味関心を高め、成長を楽しみにする

去年の11月ごろからチューリップやパンジーなどの植物の栽培をしています。お当番活動の一環として毎日水を上げ大切に育ててきました。チューリップは球根から育ててきたので特に成長の過程を感じてもらえたと思います。

① 芽が出る ②葉が大きくなる ③茎が伸びる ④つぼみができる ⑤花が咲く ⑥花が枯れる

このような成長過程の他にも、チューリップのつぼみが少しずつ膨らんでいく様子や、植物によってにおい・感触・大きさに違いがあるなど細かな点にも注目し、見つけた発見を子ども同士で教え合う姿もありました。花が咲いた際には子どもたち同士で「うれしいね」「きれいだね」と喜び合っていた姿が印象的です！花が枯れてしまった後は、子どもたちと一緒に抜く作業をし、植物の構造や根っこの違い（球根の有無）などの気づきもありました。また、散歩先で見つけた草花を图鉴で調べたり、園にある植物と同じだと気づき大人に知らせるなど興味関心の高まりを感じる場面もありました。また、お楽しみとしてベランダピクニックも開催しました ✨

4月からはザリガニの飼育も始まり、『ザリガニひまちゃん』という名前を付けました。餌をあげる・新しい水に変えるなどの世話や脱皮した姿を見るなど貴重な経験をすることができました。残念ながら死んでしまいましたが、生き物には命に限りがあること・命の大切さを知ってもらえた機会になったのではないかなと思っています。ひまちゃんのお墓を長久保公園に作った際は、「かわいそうでね」「かなしいね」という声もありました。この経験が戸外遊び時にもつながり、見つけた虫を捕まえる際、握る強さを調整したり死んじゃったら悲しいよと友達同士のやり取りも見られました。

今後も、お集りや食育などを通してより興味が広がるよう働きかけていけたらなと思います。夏には、子どもたちからのリクエストにより、ひまわり・アサガオ・オクラを栽培予定です！子どもたちと新しい発見をしていくのが今から楽しみです 😊